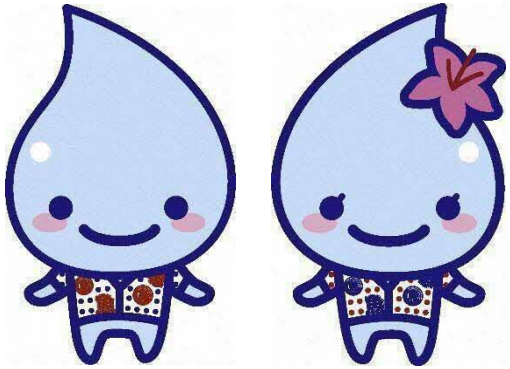
令和８年度　焼津市水道事業審議会

焼津の
すいどう



日時　令和8年11月10日（火）午後2時～

場所　焼津市水道庁舎2階　会議室

～ 目 次 ～

１．焼津市水道ビジョン・経営戦略2020の推進について

２．水需要の推移

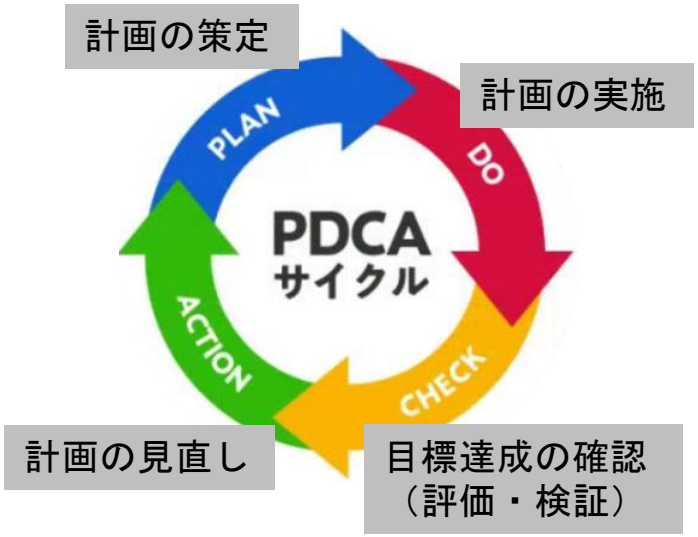
３．令和7年度目標達成状況

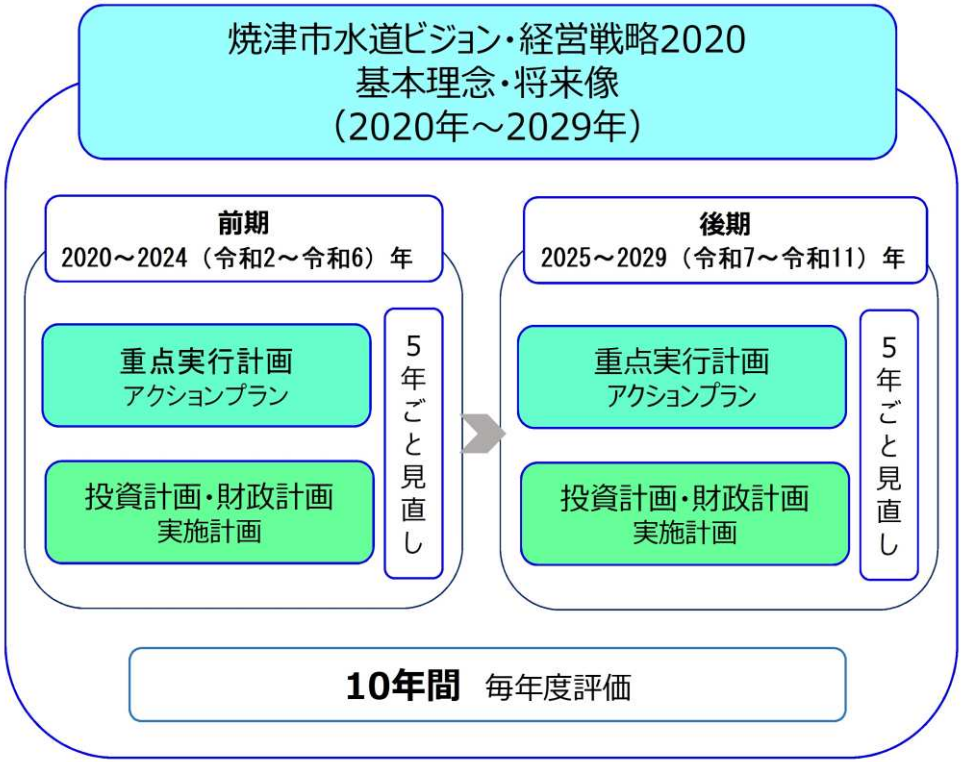
４．令和7年度決算の状況

1．焼津市水道ビジョン・経営戦略2020の推進について

計画的なフォローアップ

重点実行計画を着実に実施していくためには、計画の進捗管理が重要となるため、
毎年、PDCAサイクルを用いて、目標値に対する評価を行う





令和7年度の目標達成の状況を評価・検証する

基本理念：おいしい水を 未来へつなぐ やいづの水道

安全

基本方針：安全でおいしい水の供給

基本目標 ①水質の適正管理
②水源の維持

強靭

基本方針：災害に強い水道の構築

基本目標 ①施設の更新
②管路の耐震化
③危機管理対策の強化

持続

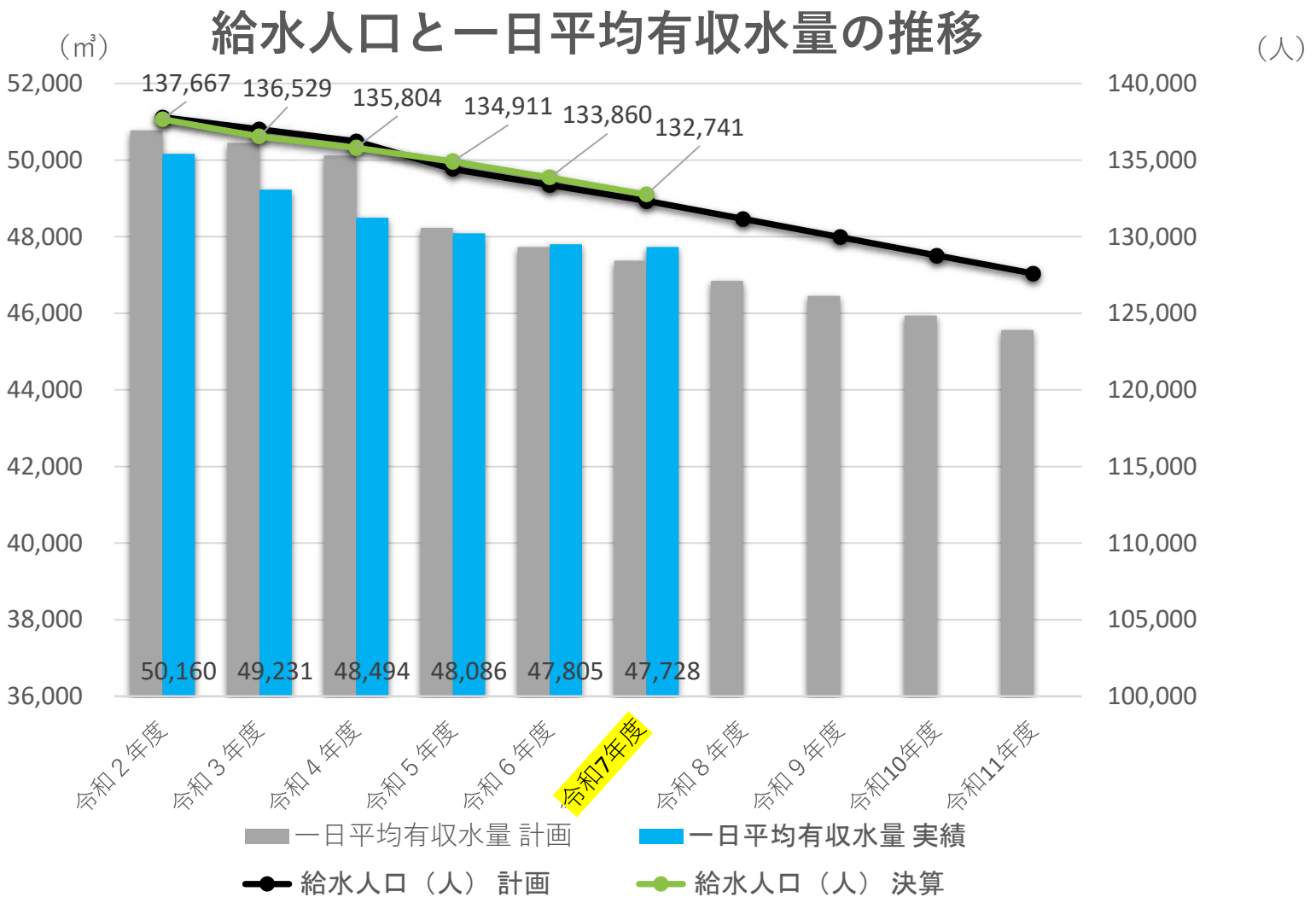
基本方針：未来につながる健全な事業経営

基本目標 ①経営基盤の強化
②業務の効率化
③お客さまとのコミュニケーションの推進
④環境に配慮した事業の運営

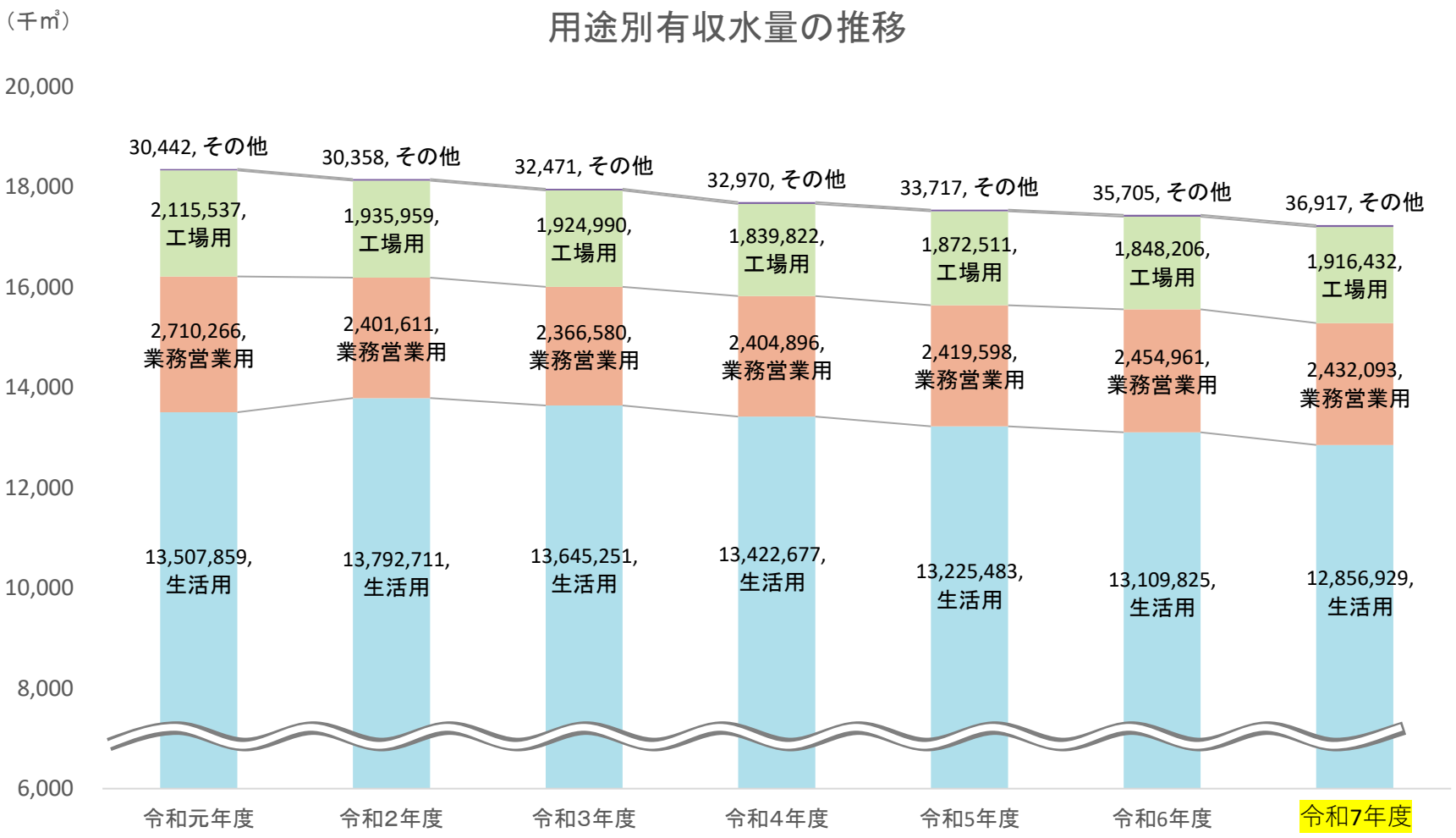
2. 水需要の推移

給水人口と一日平均有収水量

給水人口、一日平均有収水量ともに、計画値を上回ったものの、近年においては減少傾向にある。



用途別水需要



用途別の水需要の構成比は令和３年度以降大きく変化していない

全体の有収水量は減少傾向にある

3.令和7年度目標達成状況

重点実行計画の目標達成状況

安全

基本方針：安全でおいしい水の供給

基本目標１：水質の適正管理

実現施策	水源から給水までの水質管理の徹底	受水の水質管理
重点実行計画	・水質検査計画に基づく水質検査の継続実施 ・鉛製給水管の水質検査の継続、使用者への広報	受水の水質を注視、日常の水質検査の実施

基本目標２：水源の維持

実現施策	水源井戸の維持・管理	水源井戸の定期的な調査	地下水の動向把握
重点実行計画	水源井戸の維持・管理の継続実施	水源井戸の修繕計画の作成	地下水利用団体の会議等への参加

基本目標１：水質の適正管理

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
1	水質検査計画の策定	1	回/年	**1**	**回/年**	○
2	水質検査計画の実施率	100	%/年	**100**	**%/年**	○
3	鉛製給水管の水質検査	4箇所×2	回/年	**4箇所×2**	**回/年**	○
4	鉛製給水管使用者への広報（対象者）	1	回/年	**1**	**回/年**	○
5	大井川広域水道企業団の水質確認	1	回/月	**1**	**回/月**	○
6	日常の水質確認	1	回/日	**1**	**回/日**	○

1　水道法に基づき、水質検査計画を策定した。

2　水質検査計画に基づき全ての検査を実施し、水質が適正であることを確認した。

3　市内４箇所で年２回（計８回）、鉛管使用の給水栓において水質検査を実施した。協力者に結果を情報提供し、使用について注意を行うとともに、ポリエチレン管への取替を指導した。

4　広報やいづ6月号に掲載及びLINE配信するとともに、給水装置工事申込時に鉛製給水管が残置する場合は、取替を推奨した。

5　受水について、大井川広域水道企業団の水質検査計画に基づく検査結果を毎月精査し、水質が適性であることを確認した。

6　全ての配水場で毎日、残留塩素を測定し、その結果は適正であった。

基本目標２：水源の維持

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
7	水源井戸の水位・水量測定	1	回/月	**1**	**回/月**	○
8	水源井戸の修繕計画の実施（※）	-		**2**	**箇所/年**	○
9	地下水利用団体の会議参加	1	回/年	**1**	**回/年**	○

7　水源井戸について、静水位、動水位の測定を毎月実施し、大きな変化がないことを確認した。

8　祢宜島４号水源ポンプ及び中新田９号水源揚水設備（仕切弁）の修繕を実施した。

9　地域地下水利用対策協議会の会議に参加し、地下水に異常が無いことを確認した。

※「8　水源井戸の修繕計画の実施」について、令和７年度の実施計画は無かったものの、当該年度中に修繕を実施したことから、評価は○とした。

強靭

基本方針：災害に強い水道の構築

基本目標１：施設の更新

実現施策	計画的な水道施設の更新	計画的な水源井戸の更新	自然災害対策
重点実行計画	点検・修繕の実施、老朽化施設の計画的な更新	老朽化した水源井戸の計画的な更新	・浸水区域にある水道施設の対策 ・土砂災害危険区域にある高台施設の対策

基本目標２：管路の耐震化

実現施策	基幹管路の耐震化	重給管路の耐震化	給水管の耐震化
重点実行計画	基幹管路の優先的な耐震化	重要給水施設管路の優先的な耐震化	民間工事への給水管耐震化の働きかけ

基本目標３：危機管理対策の強化

実現施策	マニュアルの精査	システムの活用	応急給水・応急復旧体制の確保	停電対策
重点実行計画	事業環境の変化に応じた定期的な見直し	システム導入による施設情報の管理	応急給水や応急復旧用資器材の確保 災害時を想定した防災訓練の継続実施	発電機（レンタル）の手配・手続き方法の確立

基本目標１：施設の更新

	評価指標	R7年度目標	R7年度実績	評価
10	水道施設の修繕計画の実施	100％/年	**100％/年**	○
11	老朽化した水源井戸の更新箇所数	8箇所/10年	**8箇所/10年**	○
12	浸水想定区域内施設の対策	1箇所/10年	**1箇所**	○
13	土砂災害区域内施設の対策	1箇所/10年	**1箇所**	○

10　修繕計画に基づいた祢宜島配水場の配水ポンプ、計装設備の更新等が予定どおり完了した。

11　中新田３号水源の更新工事を実施した。

12　六軒屋配水場の施設更新を踏まえ、適正規模の更新検討を見据えた配水管路の増径工事を実施した。

13　坂本加圧ポンプ所の整備方針を決定した。
※令和９年度に基本設計、令和11年度に詳細設計を行い、令和12年度以降に整備工事を実施。

基本目標２：管路の耐震化

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
14	基幹管路の耐震管率 （水道配水用ﾎﾟﾘｴﾁﾚﾝ管を耐震管延長に含む）	52.5	%	50.3	%	△
15	重要給水施設管路の耐震管率	55.1	%	47.5	%	△
16	対象給水管のうち耐震継手の使用率 （対象給水管は、給水装置工事の申請のあったもの）	100	%	100	%	○

14　Ｒ７年度は、基幹管路 約1.8㎞を更新した。

15　Ｒ７年度は、重要給水施設管路 約1.1㎞を更新した。

16　新規・改良の給水装置工事の申請の際、耐震継手を使用している。

基幹管路・重要給水施設管路耐震管率の比較

基幹管路の耐震管率（R6年度末）	国平均	静岡県平均	焼津市
	29.8%	**33.6%**	**46.5%**

出典：国土交通省「基幹管路の耐震適合率・浄水施設の耐震化率・配水池の耐震化率（令和６年度）」
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/watersupply/stf_seisakunitsuite_bunya_topics_bukyoku_kenkou_suido_taishin_index.html

重要給水施設管路の耐震管率（R6年度末）	国平均	静岡県平均	焼津市
	（32%）	**（32%）**	**（56%） 43.7%**

出典：国土交通省「上水道施設の耐震化状況（令和６年度）」
https://www.mlit.go.jp/mizukokudo/sewerage/mizukokudo_sewerage_tk_001058.html

※括弧書きの重要給水施設管路の耐震管率は、下水道処理区域内に限定した値である

基本目標３：危機管理対策の強化

	評価指標	R7年度目標	R7年度実績	評価
17	危機管理対策マニュアルの見直し	1回/年	1回/年	○
18	上水道地図情報システムのデータ更新	1回/年	1回/年	○
19	近隣3市での資材リストの更新・共有	1回/年	1回/年	○
20	災害対策訓練実施回数	3回/年	17回/年	○
21	燃料備蓄日数	2日	2日	○
22	レンタル発電機の手配・手続き方法の確立	－	-	－

17　危機管理会議を年間８回実施し、危機管理対策マニュアルの見直しを行った。
- 危機管理マニュアル資料「焼津市水道事業におけるPFOS及びPFOAの初動対応について」を新設
- インフルエンザ等対策行動計画の改訂　ほか

18　令和６年度に実施した工事・修繕により、地図情報システムのデータ更新を行った。

19　日水協中部地方支部会員のR7資機材リストより、近隣市の資機材リストを更新した。

20　年間17回実施した。
- 県総合防災訓練（２回）
- 県健康福祉部防災訓練（１回）
- 大井川広水防災無線訓練（６回）
- シェイクアウト訓練（１回）
- 日水協情報伝達訓練（１回）
- 水道事業防災訓練（１回）　ほか

21　毎月、発電機の試運転時に在庫確認を行い、燃料備蓄が２日分となるようにした。

22　令和２年度完了

令和７年度 水道事業防災訓練



水道事業防災訓練

日　　時　令和７年12月７日（日）8時30分

場　　所　水道庁舎災害対策室

被害想定　12月７日（日）午前８時に、
大規模な地震が発生し、市内全域に
最大震度６強を観測したことを想定

訓練内容

- 水道事業災害対策本部設営訓練
- 職員参集訓練
- 被害想定に基づく初動対応訓練（図上訓練）
- 市災害対策本部との連携
- 応援事業所との連携による応援受入訓練

など



持続

基本方針：未来につながる健全な事業経営

基本目標１：経営基盤の強化

実現施策	財政計画に基づく財源確保	有効率の向上	適正な資産管理	人材の育成と技術継承
重点実行計画	財政計画に基づく適切な財源の確保	配水管更新（予防）、漏水箇所の修理（対処）	アセットマネジメントの精度向上	・業務マニュアルの整備、外部・内部研修の実施、先進事業体からの技術支援 ・再任用職員から次世代職員への技術継承

基本目標２：業務の効率化

実現施策	業務効率化	台帳整備の効率化	個別委託発注区分の検討
重点実行計画	・事務の効率化の調査・研究 ・発注業務の効率化の検討	システム活用による水道施設台帳の一元化	個別委託発注区分の検討 （運転管理業務などのより効率的な契約内容の検討）

基本目標３：お客さまとのコミュニケーションの推進

実現施策	多角的（戦略的）な広報の実施	意見・要望の把握
重点実行計画	・施設見学会の実施 ・経営状況、事業実施状況の情報公開 ・水質検査結果の公表、おいしい水のPR	お客さまアンケートの実施

基本目標４：環境に配慮した事業の運営

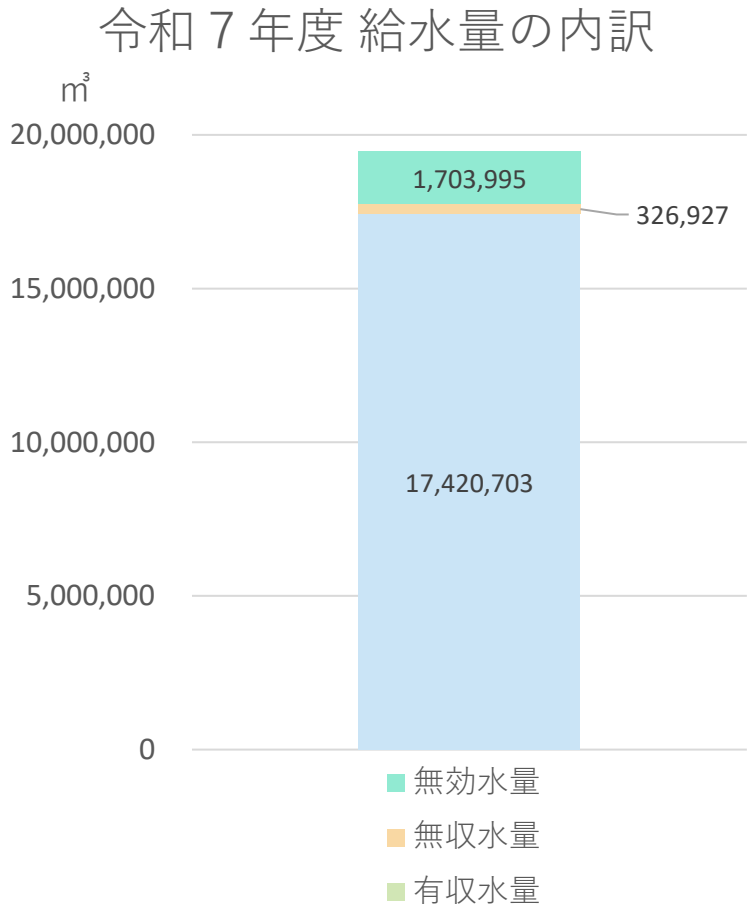
実現施策	省エネルギー化の推進	資源の有効利用の推進
重点実行計画	・高効率機器の導入 ・省エネ活動の継続、省エネ機器の導入 ・水源井戸の水量調整方法の見直し	資源の有効活用の推進

基本目標１：経営基盤の強化

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
23	経常収支比率	100	%以上	**107.3**	**%**	○
24	内部留保資金	10	億円以上	**19.0**	**億円**	○
25	給水収益に対する企業債残高の割合	400	%以下	**394.2**	**%**	○
26	水道料金の見直し	2回	10年	**1回**	**5年**	○
27	有効率	94.4	%	**91.2**	**%**	△

23　令和７年度計画値（100.0%）と実績値の比較　+7.3ポイント
　　（令和６年度類似団体平均値 110.0%，全国平均値 108.5%）
24　令和７年度計画値（10.3億円）と実績値の比較　＋8.7億円
25　令和７年度計画値（398.7%）と実績値の比較　−4.5ポイント
　　（令和６年度類似団体平均値　222.5%，全国平均値 264.9%）
26　水道事業審議会を計５回実施し、ビジョンの推進及び経営基盤の強化について諮問を行った。
　　また、適切な料金の在り方について検討し、市長に答申を行ったとともに、給水条例の改定案を２月議会に上程、３月19日に議決された。
27　令和６年度に人工衛星による漏水調査を実施し、191箇所の漏水可能性箇所を特定した。
　　令和７年度は、漏水可能性箇所の現地詳細調査を行い、67箇所の漏水箇所を確認し、４箇所の修繕を行った。
　　この他に、市民から漏水の通報があった箇所について、配水管10箇所、給水管36箇所の漏水修繕を実施した。

【有効率が目標に達しなかった理由】
有効率は、老朽管の更新や漏水調査を進めているが、経年劣化により新たな漏水が発生していると思われる

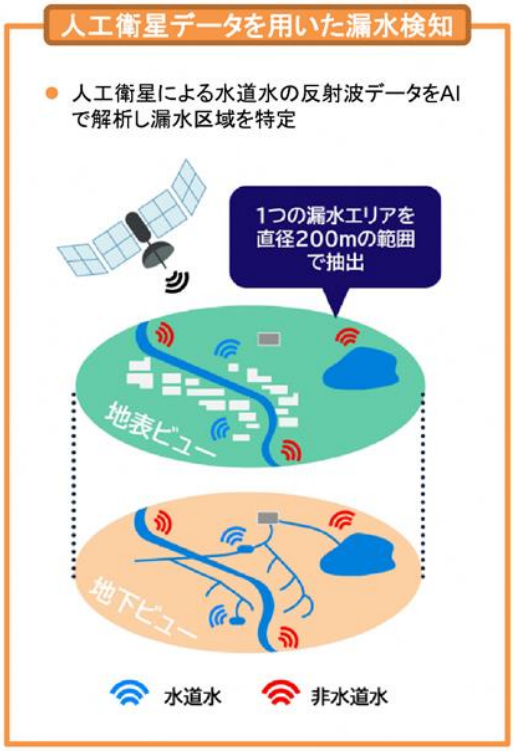


有収水量	料金徴収の対象となった水量	89.5%
無収水量	料金の対象とはならなかったが、 有効に使用された水量 例：水道管の洗浄、消防の使用	1.7%
無効水量	上記以外 主に管路からの漏水	8.8%

有効率＝給水量のうち、
有収水量+無収水量の割合

有効率が高いほど、漏水が少なく、無駄な水の製造にコストがかからないため、経営の効率化につながる

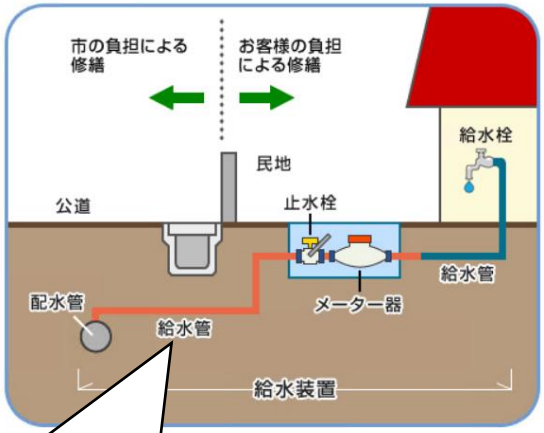
【有効率の向上・施設の強靭化】





発見した漏水を速やかに修繕する





個人の持ち物である給水管の漏水も多くみられる

老朽管の更新や漏水調査を行い有効率の向上につなげる
AIを活用した管路劣化診断など新たな方法を検討する

基本目標１：経営基盤の強化

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
28	水道施設台帳の更新	1	回/年	**1**	**回/年**	○
29	業務マニュアルの見直し、更新	1	回/年	**1**	**回/年**	○
30	外部研修受講回数	1	回/人・年	**1.68**	**回/人・年**	○
31	**内部研修受講回数**	1	回/人・年	**2.65**	**回/人・年**	○
32	再任用職員を活用した技術指導	毎年実施		**1回/年 以上実施**		○

28　令和7年度に実施した工事・修繕により、水道施設台帳の更新を行った。

29　各担当にて、各業務マニュアルの策定及び見直しを実施した。

30　日本水道協会、横浜ウォーター、NOMA開催の研修に参加した。(42回/年)

31　人事課開催の人事研修、DX推進課開催のDX関係のセミナーなどの庁内研修に参加した。(69回/年)

32　各担当にて、技術指導を行った。
例）漏水発生現場や断水工事現場での対応として、熟練した水道事業経験職員が若手職員に同行し、技術的な指導を行った。

基本目標２：業務の効率化

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
33	近隣市町との情報交換会	1	回/年	**7**	**回/年**	○
34	業務効率化の検討会	1	回/年	**1**	**回/年**	○
35	水道施設台帳の一元化	-		**－**		**－**
36	個別委託発注区分の検討	-		**-**		**－**

33　三市上水道意見交換会を焼津市において対面により開催した。事務職と技術職とに別れた分科会方式で、各市が抱える課題に対し活発な意見交換をし、情報を共有した。

34　給水台帳、配水管管網図閲覧の電子申請を検討した。

35　令和２年度完了（以降、毎年データ更新）

36　令和５年度完了

基本目標３：お客さまとのコミュニケーションの推進

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
37	施設見学会の実施	1	回/年	**5**	**回/年**	○
38	決算書の公表	1	回/年	**1**	**回/年**	○
39	事業計画の進捗状況の公表	1	**回/5年**	**1**	**回/５年**	○
40	水質検査結果の公表	1	回/月	**1**	**回/月**	○
41	お客さまアンケートの実施	1	回/年	**17**	**回/年**	○

37　８月８日に親子施設見学会を実施した。
　　また、焼津中学校支援学級、焼津南小学校、大富小学校の社会見学などの施設見学を受け入れた。
38　令和６年度水道事業会計決算について、９月議会議決後、決算書本編及び概要版を水道事業ホームページで公表した。
39　ホームページに令和６年度末の事業進捗を公表した。
　　また、水道事業審議会における議事録等についても同様に公表を行った。
40　水質検査結果を水道ホームページで公表（毎月更新）した。
41　親子施設見学会、社会科見学、公民館への出前講座等で参加者アンケートを実施した。

令和７年度 夏休み親子見学会



令和７年度　親子見学会

水博士になろう！

～水の循環を親子で探検～

日　　時　令和７年８月８日（金）８時30分

場　　所　水道庁舎、大井川環境管理センター

参 加 者　小学生とその保護者22名

内容

- **広報映像「焼津市の水道水」視聴**
- **水道水当てクイズ**
- **祢宜島配水場施設見学**
- **給水車体験**
- **大井川環境管理センター施設見学　　など**



基本目標４：環境に配慮した事業の運営

	評価指標	R7年度目標		R7年度実績		評価
42	配水量1m^{3}当たり電力消費量	0.26	kWh/m^{3}以下	**0.25**	**kWh/m^3**	○
43	配水量1m^{3}当たり消費エネルギー	2.60	MJ/m^{3}以下(※)	**2.54**	**MJ/m^3**	○
44	水源井戸水量調整方法の見直し	-		-		－
45	建設副産物リサイクル率	70.0	%以上	**94.3**	**%**	○

※MJ・・・MegaJoule（メガジュール）　　仕事・ｴﾈﾙｷﾞｰ・熱量の単位。１MJ=0.278kWh
エネルギーを熱量として換算するときはMJ、電力量として換算するときはkWhの単位を使う。

42　電力使用量の合計（kWh）/年間配水量(㎥)
4,855,350÷19,451,625≒0.25kWh/**m^3**

43　エネルギー消費量(MJ)/年間配水量(㎥)
49,368,340÷19,451,625≒2.54MJ/**m^3**

44　令和６年度委託にて、計画予定井戸の検証が完了。

45　コンクリート殻及びアスファルト殻等について、全て再資源化を図った。
建設発生土の再利用については、他事業に付随する配水管布設工事は施工性等を考慮し、本体工事に合わせ建設発生土を処分し、埋戻し材を購入した。

4. 令和7年度決算の状況

投資計画

施設、管路の更新・耐震化計画

（資本的支出（税込）,百万円）

施設名		2020 R2		2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	計	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	実績
施設・設備	中新田系水源井戸更新	12	14	0	0	0	0	69	0	6	0	19	80	146	152	48	0	452	14
	中新田配水場施設更新	0	0	0	4	0	0	0	0	2	8	6	3	0	0	29	21	58	4
	祢宜島系水源井戸更新	7	5	69	13	62	0	0	0	6	4	174	84	50	0	59	0	427	18
	祢宜島配水場施設更新	0	5	14	0	8	5	0	10	155	13	132	216	64	152	556	0	1,081	10
	上泉系水源井戸更新	66	57	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	37	0	0	325	428	57
	上泉配水場施設更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	22	0
	六軒屋系水源井戸更新	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	六軒屋配水場施設更新	0	0	0	0	203	18	308	0	0	0	0	0	0	0	0	0	511	18
	高台施設更新	17	13	18	31	113	9	14	13	86	75	0	6	0	0	0	58	306	53
管路	管路更新・耐震化	1,021	826	1,352	1,237	1,012	1,316	923	1,080	1,199	1,196	1,802	1,332	1,990	1,952	1,959	1,264	14,474	3,379
	他事業関連管路整備	90	77	56	24	56	46	57	23	130	56	50	64	50	50	50	50	639	147
（施設費：備品類）		21	3	21	16	21	9	22	5	26	25	22	5	23	23	23	24	226	28
建設改良費　合計		1,234	1,000	1,530	1,325	1,475	1,403	1,393	1,131	1,610	1,377	2,205	1,790	2,360	2,329	2,724	1,764	18,624	3,728
		▲ 234		▲ 205		▲ 72		▲ 262		▲ 233		▲ 415							

- ◆ 中新田系水源井戸更新は、中新田3号水源更新工事を実施したことから、計画を6,100万円上回っている。
- ◆ 祢宜島系水源井戸更新は、祢宜島3号水源更新工事（電気設備）を令和８年度に繰り越したことから、計画を9,000万円下回っている。
- ◆ 祢宜島配水場施設更新は、祢宜島配水場着水井更新を実施したことから、計画を8,400万円上回っている。
- ◆ 管路更新・耐震化は、一部の事業を令和８年度に繰り越したことから、計画を4億7,000万円下回っている。

施設の長寿命化に伴う点検・修繕計画

（収益的支出（税抜）,百万円）

施設名		2020 R2		2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11	計	
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画	計画	実績
長寿命化分	中新田系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	0	0	3	0	1	0	0	1	0	0	5	0	9	1
	祢宜島系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	82	43	13	0	138	3
	上泉系水源井戸点検・修繕	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	中新田配水場設備点検・修繕	8	8	5	6	32	6	32	1	19	17	27	15	20	179	8	11	341	53
	祢宜島配水場設備及び水道庁舎点検・修繕	50	68	2	11	14	4	8	0	0	14	11	21	0	0	114	9	208	118
	上泉配水場設備点検・修繕	13	14	12	13	0	0	2	11	11	3	3	0	0	0	0	10	51	41
	六軒屋配水場設備点検・修繕	0	1	3	1	2	0	21	9	3	0	0	12	0	7	0	0	36	23
	高台施設点検・設計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	3	0	34	0	0	34	5
	計	71	91	22	31	48	10	66	0	34	36	41	55	0	263	140	30	817	223
修繕費（上記以外）		112	75	67	82	67	77	67	66	80	66	89	62	92	95	97	100	866	234
修繕費　合計		183	166	89	113	115	87	133	66	114	102	130	117	92	358	237	130	1,683	457
		▲ 17		24		▲ 28		▲ 67		▲ 12		▲ 13							

施設の長寿命化に伴う点検・修繕計画については、点検結果に基づき経年劣化した設備の修繕を行い、施設の機能維持を図った。

管路更新・耐震化計画に基づく耐震管率の推移　（km）

耐震管率の指標		2020 R2		2021 R3		2022 R4		2023 R5		2024 R6		2025 R7		2026 R8	2027 R9	2028 R10	2029 R11
		計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
基幹管路の耐震管率	耐震管延長	15.2	17.4	16.9	19.5	18.0	20.5	19.2	21.3	21.9	21.8	23.8	23.6	26.0	27.5	29.7	31.9
	対象延長	46.9	48.6	46.4	49.0	45.5	48.1	45.6	48.6	45.9	46.9	45.3	46.9	45.1	45.0	44.7	44.7
	耐震管率	32.4%	35.7%	36.4%	39.7%	39.6%	42.6%	42.1%	43.9%	47.7%	46.5%	52.5%	50.3%	57.6%	61.1%	66.4%	71.4%
重要給水施設管路の耐震管率	耐震管延長	14.7	14.7	17.3	17.3	18.5	19.2	21.3	20.7	23.6	21.5	27.1	23.4	30.0	31.5	33.9	36.2
	対象延長	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2	49.2
	耐震管率	29.9%	29.9%	35.2%	35.2%	37.6%	39.0%	43.3%	42.1%	48.0%	43.7%	55.1%	47.5%	61.0%	64.0%	68.9%	73.6%

基幹管路の耐震管率、重要給水施設管路の耐震管率は、計画を下回っている。

【投資計画のまとめ】

◆ 管路更新、施設更新は計画よりもやや遅れている。

◆ 「基幹管路の耐震管率」については、国の目標である、“令和10年度までに60％”という目標を達成できるよう、計画的に事業に取り組んでいく。

財政計画（収益的収支）

（単位：千円）

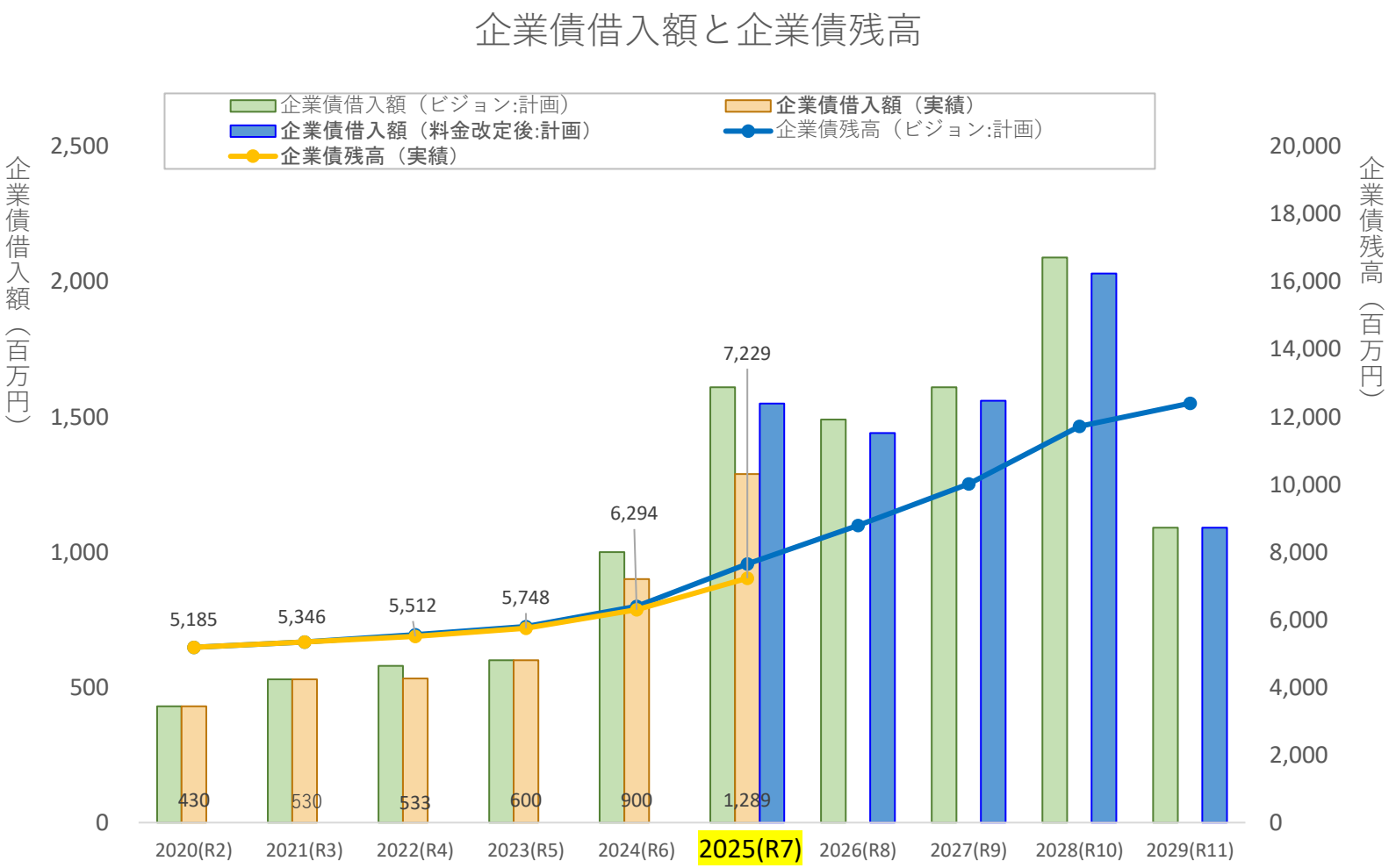
項目			単位	令和６年度			令和７年度		
				計画	決算	比率	計画	決算	比率
収益的収支（税抜）	収益的収入	営業収益	千円	2,028,869	1,970,160	97.1	1,940,575	1,849,447	95.3
		給水収益	千円	2,008,238	1,944,215	96.8	1,919,000	1,834,182	95.6
		受託工事収益	千円	17,600	23,138	131.5	18,317	12,414	67.8
		その他営業収益	千円	3,031	2,807	92.6	3,258	2,851	87.5
		営業外収益	千円	134,942	153,212	113.5	132,104	245,501	185.8
		他会計補助金等	千円	5,453	11,693	214.4	10,602	122,086	1,151.5
		長期前受金戻入	千円	114,826	117,999	102.8	106,496	107,490	100.9
		その他営業外収益	千円	14,663	23,520	160.4	15,006	15,925	106.1
		特別利益	千円	0	0	－	0	0	－
		計（税抜）	千円	2,163,811	2,123,372	98.1	2,072,679	2,094,948	101.1
	収益的支出	営業費用	千円	1,920,353	1,896,927	98.8	1,982,450	1,875,094	94.6
		給与費	千円	196,522	160,598	81.7	190,495	161,816	84.9
		動力費	千円	83,691	103,926	124.2	133,322	105,614	79.2
		受水費	千円	370,000	367,645	99.4	368,162	367,953	99.9
		委託料	千円	263,458	297,466	112.9	306,705	295,053	96.2
		修繕費	千円	96,823	87,046	89.9	137,640	117,533	85.4
		減価償却費等	千円	863,963	805,120	93.2	777,481	776,234	99.8
		一般管理費	千円	45,896	75,126	163.7	68,645	50,891	74.1
		営業外費用	千円	53,479	63,534	118.8	90,182	77,608	86.1
		支払利息	千円	52,324	61,847	118.2	79,130	76,135	96.2
		その他支出	千円	1,155	1,687	146.1	11,052	1,473	13.3
		計（税抜）	千円	1,973,832	1,960,461	99.3	2,072,632	1,952,702	94.2
	当期純利益・損失		千円	189,979	162,911	85.8	47	142,246	302,651.1

財政計画（資本的収支ほか）

（単位：千円）

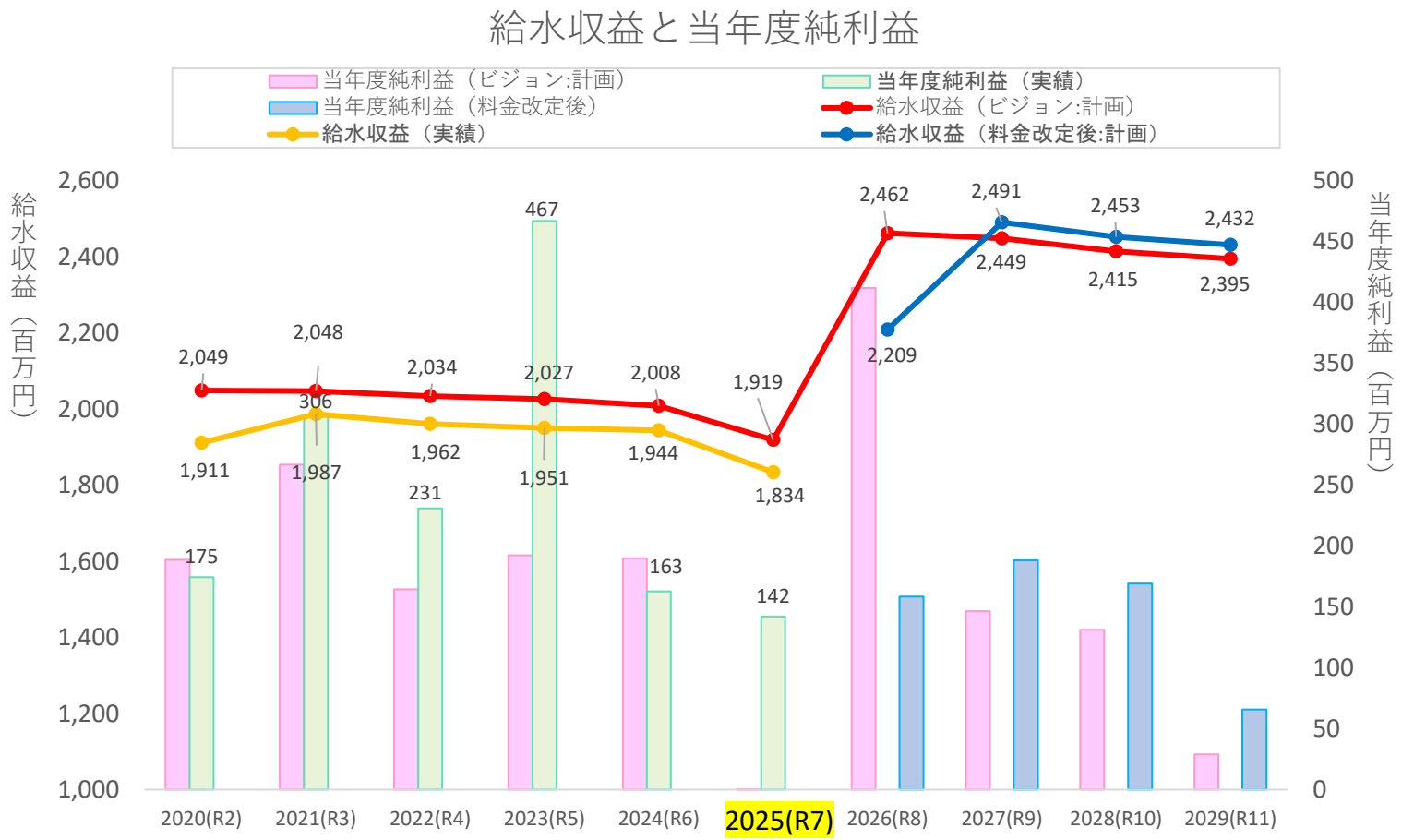
項目			単位	令和６年度			令和７年度		
				計画	決算	比率	計画	決算	比率
資本的収支（税込）	資本的収入	企業債	千円	800,000	900,000	112.5	1,610,000	1,288,600	80.0
		出資金	千円	0	0		0	40,000	
		他会計負担金・補助金	千円	0	385	－	444	638	143.7
		工事負担金	千円	51,209	20,112	39.3	24,159	17,699	73.3
		その他資本的収入	千円	0	0	－	0	0	－
		計（税込）	千円	851,209	920,497	108.1	1,634,603	1,346,937	82.4
	資本的支出	建設改良費	千円	1,619,208	1,376,398	85.0	2,473,506	1,790,273	72.4
		企業債償還金	千円	357,474	353,973	99.0	353,721	353,656	100.0
		計（税込）	千円	1,976,682	1,730,371	87.5	2,827,227	2,143,929	75.8
	資本的収支不足額		千円	▲ 1,125,473	▲ 809,874	72.0	▲ 1,192,624	▲ 796,992	66.8
	補填財源	消費税資本的収支調整額	千円	132,016	108,722	82.4	215,188	107,161	49.8
		損益勘定留保資金	千円	749,137	684,359	91.4	670,985	669,322	99.8
		利益剰余金処分額	千円	244,320	16,793	6.9	306,451	20,509	6.7
		補填不能額	千円	0	0	－	0	0	－
余剰金	利益剰余金		千円	－	179,705	－	－	162,755	－
		減債積立金	千円	－	0	－	－	0	－
		建設改良積立金	千円	－	162,912	－	－	142,246	－
		繰越（未処分）利益剰余金	千円	－	16,793	－	－	20,509	－
企業債残高			千円	6,394,471	6,294,475	98.4	7,650,750	7,229,418	94.5

①企業債の活用



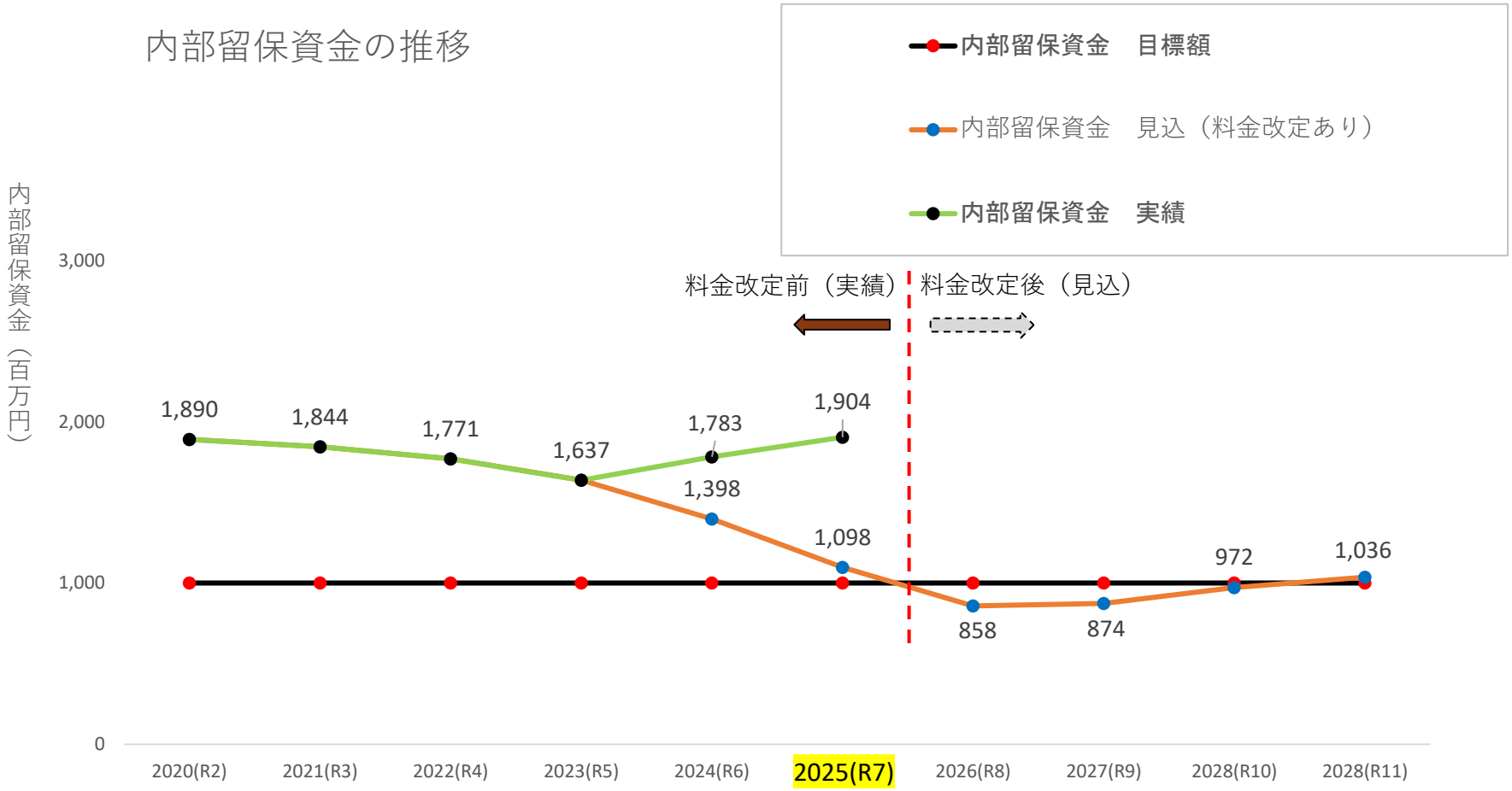
企業債借入額は計画額を下回っている。
企業債残高は、おおむね計画どおりである。

②健全な収支バランスの維持



・給水収益は、基本料金の免除などにより、計画を8,500万円程度下回った。
・当年度純利益は、収益的支出が抑えられたことにより、計画を上回った。

③内部留保資金目標額の確保



【財政計画のまとめ】

財政計画について、給水収益が計画よりも少なかったが、事業費用が低く抑えられたことや、工事費用の執行が少なかったことにより、計画よりも内部留保資金が多くなっている。
今後の工事費用の原資として活用を行う。